

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2003.06.18

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）倉橋（西大寺南小）三辻（彦崎小）
松本（国府小）田辺（津島小）津下（山陽西小）福井（伊島小）

【金のさなぎ】倉橋

背中に金ピカの点があるさなぎ。これはツマグロヒョウモンという種類のチョウのさなぎです。ツマグロヒョウモンの幼虫は黒地に赤い点、成虫は文字通りヒョウ柄です。食草はスミレ。パンジーにいっぱいついていました。どう見ても金のようです。



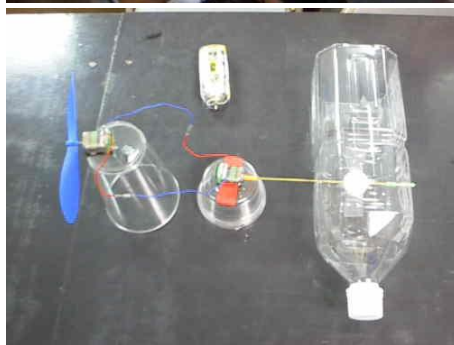
【ブラックライト・集音器・クリスタルビーズ】倉橋

15Wのブラックライトが機械付きでたったの1000円！集音器も教材屋だと7500円なのに、たったの1000円！クリスタルビーズ（100円）は香炉の灰の代用ですが静電気の実験や顕微鏡作りね簡易力学台車…などに利用できそうです。



【水力発電機】高松

6年生の電磁石の学習の発展として水力発電機が出来ないかとペットボトルや発泡スチロール球・トレー、モーターなどを組み合わせて試作されましたが、なかなか難しいようです。音や摩擦、エネルギー変換の時のロスなどで簡単にはいきません。ホルマル線を巻いたアクリル管の中で磁石を往き来させて電球をつける『ふるふるライト』の方が簡単かも知れませんね。



【英語も自分で教えよう】津下

次の指導要領では英語が正式に教科として導入されるという噂が流れるなか各校で実践は着実に進んでいます。津下先生の模擬授業は発音もなかなかで、よく工夫されています。

【水は答えを知っている】松本

同名の本を出している出版社がビデオを出し、そのサンプルムービーをインターネットでダウンロードできるそうです。水に音楽を聴かせたり優しい言葉をかけたりしながら凍らせるると美しい結晶が出来るといふ。非科学的だけどオモシロイ。



【初等理科教育夏季研修会】田辺

8月21日に行われる夏季研修会では、2学期にすぐ使える実験の紹介ブースを設けるそうです。静観台は5年生担当です。

【4年生 電気のはたらき】松本

「超明るくて、超長持ちの懐中電灯を作ろう」という発問から単元を開始します。どうすればいいか予想を立てさせると、①豆電球の数を増やす、②レンズを使う、③光電池を使う、④乾電池の数を増やす、⑤太い電池（単1）に変える、⑥アルカリ電池にする、⑦乾電池と光電池を組み合わせる…などが出たそうです。①の「豆電球の数を増やす」にしても④の「乾電池の数を増やす」にしても、直列つなぎや並列つなぎの他に、電池1個と豆電球1個のユニットをたくさんつけるというようなものがあり、子供の発想の豊かさに驚かされました。この先、子供達の考えた回路をもとにして学習を進めていくそうです。楽しみです。